

2月定例会市議会
総務常任委員会

7500人が利用 存続の願いに反し B & G プール廃止



B & G海洋センターのプール(六条)

12日開催の総務常任委員会が今議会に提案されているB & Gプール廃止ための議案は賛成多数(反対は共産党・工藤市議)となりました。

B & Gプールは長年にわたり、使用料も安価で、子どもたちを中心に多くの利用者(令和元年17477人)がありました。廃止の理由は老朽化と行財政改革としています。

旧中主ではこれまで年間約8000件の利用があった市民サービスセンターが廃止され、さらに今回のB & Gプール廃止で身近なサービスが相次いで切り捨てられています。

今議会では市のまちづくりの基本を定める総合計画(後期計画)見直しの議案も提案されました。まちづくりの方向を、野洲駅周辺・北部合同庁舎周辺・総合体育館周辺の3拠点を進めるとしていますが、その方向性も十分な検討がされてきたのかが問われました。計画とは裏腹に市民サービスが相次いで後退しています。

お知らせ

「赤旗」日曜版・滋賀民報は合併号でお届けします
日頃のご愛読ありがとうございます。「赤旗」日曜版・滋賀民報の3月15日号と3月22日号は合併号でお届けします。よって、3月22日は発行されません。3月29日号から通常発行でお届けします。引き続き、「愛読をよろしく願います。」

総務常任委員会議案態度 (3月12日)

総務常任委員会では8議案が付託されました。共産党市議団は2議案に反対、6議案に賛成しました。

議案内容	工藤義明	石川恵美	永島知香	山岡卓治	東郷克己	山本剛
	共	創政会	未来共創	民	委員長	
中主B & G海洋センター条例の一部を改正(プールの廃止・解体)	●	○	○	○	○	○
野洲市総合計画・後期基本計画の策定について(方向性が不十分)	●	○	○	○	○	○
その他議案(6議案)	○	○	○	○	○	○

※ 共=日本共産党野洲市議団、民=民主やす。委員長は採決に加わりません。
※ 常任委員会で審議・採決された議案は、3月25日の定例会(最終本会議)で採決されます。

民主主義危機 維新の比例削減案

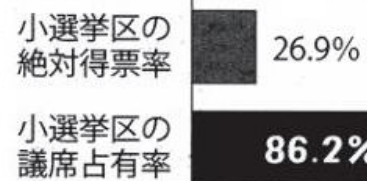
維新は衆議院議員定数をめぐり、比例代表のみ45議席を削減する法案の検討に入りました。自民党と協議し早ければ3月前半の国会提出を目指しています。

得票率に応じて議席を配分する比例代表制は、最も正確に民意を反映する選挙制度。比例の45削減は民意を切り捨て、大政党が議席を占有し、独裁的な体制が固定されます。

維新は国民の税金から政党助成金28億円?

仮に比例45削減で約32億円です。一方、政党助成金(国民の税金)は全政党で約315億円。その内、維新だけで約28億円です。維新は「身を切る改革」というなら政党助成金を廃止すべきです。

自民党=3割弱の得票で8割の議席



(2026年総選挙で自民党)

1人しか当選しない小選挙区制は、議席に結びつかない多数の死票を生み出します。総選挙で自民は3割弱の得票で8割強の議席を獲得しました。